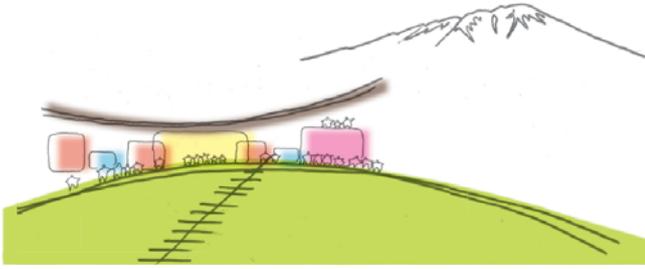


みんなで作る

ふれあいの大屋根

“滝沢村交流拠点複合施設”

住民が集う場として、大屋根の下、麓に出来た集落のように顔を出す様々な交流施設がにぎわいをつくります。



ROOF NEWS Vol.5

※屋根の英単語 ROOF をとり、タイトルとしました。

平成 25.6.10 滝沢村（交流拠点整備室）

ROOF1 第3回および第4回のワークショップ（全体会）が開催されました

滝沢村の鶴飼地区に計画されている、交流拠点複合施設の検討ワークショップ（全体会）を第3回（3月26日）と第4回（4月26日）に、滝沢村公民館を会場に行いました。

基本設計取りまとめに向け、コストも含めた検討を行い、これまで検討してきた案の配置や設備などの確認、協議を行いました。

ROOF2 ワークショップのかたち（全体会）

第3回では、これまで検討してきたJ-8案に基づいた配置、共用部の使われ方、構造、設備、ランドスケープなどを確認しました。第4回では、コスト検討を行ったところ予算からオーバーしていた為、共用部等の一部を縮小した案のK-8案が新たに提案され、全体で協議しました。

ROOF3 第3回、第4回の検討ワークショップ（全体会）の概要

第3回全体会では、これまで議論してきたJ-8案のより詳細な仕様や使われ方についての資料が提示され、具体的な使われ方などに関する議論がなされました。

これまでは各部会が担当する居室を中心に議論されてきましたが、今回はホール部会、図書館部会、コミュニティ部会のそれぞれが連携して使う場合を想定した共用部の使われ方や、トイレなどの共用部設備に対する意見もいただきました。また構造や設備、環境面への配慮、ランドスケープ計画についても資料の提示がなされ、今後施設の部屋配置や意匠以外の部分についても、具体的に検討していくものです。

最後に全員の意見をまとめ、今後工事費の検討を進めることを確認しました。

第4回全体会では、予算に合わせた案のK-8案について、第3回提示のJ-8案からの変更内容を中心に説明が行われると共に、建物のイメージを視覚的に確認するため、スライドでイメージCGを披露し、各部会員から感想などを聞きました。

K-8案は、これまで議論してきた内容をもとに、現実的な工事費用も勘案して作成したもので、予算上、要望があった一部の機能で実現が難しいものは、代替方法を議論しながら、検討を進めることになりました。最後に今後のスケジュールを説明すると共に、基本設計はK-8案で進めますが、引き続き案に対する意見を部会にて検討することを確認しました。



ワークショップの様子
（全体会・設計から説明）



ワークショップの様子
（全体会・設計から説明）

ROOF4 ワークショップ結果概要

第3回全体会

ホール部会

ホール部会からはエアーキャスターのホワイエ利用に対する意見やトイレの数の意見が出されました。ホール部会はその後個別に部会を開き、音響や遮音についての議論を行いました。

図書館部会

図書館部会からは、「作業スペース」を部屋として確保することや、図書館の外の音をどの程度許容するか、仕切りをどのようなするかなど、管理運営を踏まえた意見などが出されました。

また共用部への意見として、トイレに関し、動線や授乳スペースの位置など、利用者の目線に立った意見が出されました。

コミュニティ部会

コミュニティ部会では、喫煙はどこで行うか、トイレの車いす利用など、管理運営における実状の課題に沿った意見がされました。またチャグチャグ馬コの際の屋外空間の設備に対する意見なども出されました。

全体会まとめ

全体コーディネーターの三宅先生から、考え方の確認は出来たが、今後工事費も含めて最終調整をしていくなかで、利用頻度など一定の指標をもとに、優先順位を付けて整理することが大切であることなど、意見をいただきました。

第4回全体会

ホール部会

K-8案はメインの入口の位置が分かりにくいのではとの意見やトイレの数が少ないのではとの意見が出されました。ホールとして重要な遮音性能を確保する観点から、可動間仕切りの仕様について確認する場面もありました。

図書館部会

児童コーナーのそばに2階学習スペースへの階段が設置されていることへの是非、具合が悪くなった人への医務室の検討の必要性、学習スペースの広さなどについての意見が出されました。

コミュニティ部会

ホール、大会議室からの避難誘導のあり方、図書館と通路の間仕切り設置について、ギャラリースペースの位置や、クッキングスタジオの流しの数などについての意見が出されました。

全体会まとめ

基本設計は、建設費用も踏まえたK-8案をベースに進めることとしますが、引き続き実施設計段階に向け、各部会ワークショップで更に深く議論を加え、さらに改善していくこととなりました。

建設推進委員長の狩野先生からは、予算を踏まえ面積が減少しているが、小さくなったことによる利点も見いだしながら、もう一工夫して、使い勝手を更に向上させて行くことが最も重要であることなどの意見をいただきました。

ROOF5 まとめ

今後ワークショップを通じ、建設費用も踏まえたK-8案をさらに改善していくこととなりましたが、その検討過程を今後も ROOF NEWS でお知らせしていきますので、よろしくお願いいたします。



全体ワークショップの様子
(全体会)



第3回全体会ワークショップの結果



第4回全体会ワークショップの結果